

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-522598 (P2004-522598A)  
 【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-029  
 【出願番号】特願 2002-564089 (P2002-564089)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 2 4 B 37/00

B 2 4 B 37/04

// H 0 1 L 21/304

【F I】

B 2 4 B 37/00 C

B 2 4 B 37/04 K

H 0 1 L 21/304 6 2 2 F

H 0 1 L 21/304 6 2 2 S

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 31 日 (2005.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 前面、背面、及び周縁面を含む本体であって、当該本体はポリマー材料を含み、且つ当該周縁面は開口を含む、本体、

(b) 研磨面、

(c) 本体を通り抜けて前面から背面まで達する終点検出ポート、及び

(d) 終点検出ポート及び周縁面の開口と流体を介して連通する排出路、を含む研磨ディスク。

【請求項 2】

前記排出路が前記前面に露出している、請求項 1 記載の研磨ディスク。

【請求項 3】

前記排出路が前記前面の領域によって覆われている、請求項 1 記載の研磨ディスク。

【請求項 4】

前記排出路が前記背面の領域によって覆われている、請求項 3 記載の研磨ディスク。

【請求項 5】

前記排出路を形成するチューブを更に含む、請求項 4 記載の研磨ディスク。

【請求項 6】

前記排出路が前記ポリマー材料の圧縮性とほぼ等しい圧縮性を有する、請求項 1 記載の研磨ディスク。

【請求項 7】

(a) 前面、背面、及び周縁面を有する本体であって、当該本体はポリマー材料を含み、且つ当該周縁面は開口を含む、本体を用意すること、

(b) 本体上に研磨表面を設けること、

(c) 前面から背面まで達する孔を形成して終点検出ポートを設けること、及び

(d) 上記孔及び周縁面の開口と流体を介して連通する排出路を本体に形成すること、

を含み、上記本体から研磨ディスクを形成してそれにより研磨ディスクが上記研磨面、上記終点検出ポート、及び上記排出路を含むようにする、研磨ディスク製造方法。